

平成30年度
(2018年度)

入学者選抜方法及び実施教科・科目等
(予告の変更)

秋田大学

平成29年3月23日付

本内容は現時点で、「平成29年度入学者選抜」および既にホームページで公表（平成28年12月13日）している「平成30年度入学者選抜実施教科・科目」から変更がある箇所についてお知らせするものであり、更に変更となる可能性があります。

詳細については、平成30年度入学者選抜要項（平成29年7月公表予定）等で確認してください。**変更：朱書き部分**

《教育文化学部》

教育文化学部学校教育課程「理数教育コース」において、新たに推薦入試Ⅱ（センター試験を課す）を実施するとともに、「地域文化学科」では、推薦入試Ⅰ（センター試験を課さない）の募集人員を増員します。

（1）募集人員

【変更前】

		入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II	
学校教育課程	理数教育コース	20	15	5	—	—	—	若干名
地域文化学科		100	65	15	—	20 ※	—	若干名

※20人のうち地域貢献枠5人程度



【変更後】

		入学定員	一般入試		AO入試	推薦入試		私費外国人留学生入試
			前期日程	後期日程		I	II	
学校教育課程	理数教育コース	20	12	4	—	—	4	若干名
地域文化学科		100	60	15	—	25 ※	—	若干名

※25人のうち地域連携・国際交流枠5人程度

《地域連携・国際交流枠》について

地域連携・国際交流枠とは、主体的・積極的に地域の方々と連携した活動や国際交流活動をしている人を受け入れる募集枠です。地域連携活動としては、地元の祭りに参加して地域の人たちと協働で何らかの活動を行っている、地域ボランティア団体に所属し施設訪問を行っている、地元のスポーツクラブに入り小学生に指導している等、国際交流活動としては海外留学や留学生の受け入れ等を体験しその後も交流活動を続けている、地域の外国人との交流等の活動をしている等、地域連携あるいは国際交流に関する継続的な活動実績（1年以上）を有する人が対象です。（ただし、学校の部活動としての活動や、地域の方々との協働性あるいは外国人との交流性が低い活動はこの枠には該当しません。）

また、高校時代と異なる活動になっても構いませんが、大学入学後も地域との連携活動あるいは国際交流活動を行うことも条件となっています。（入学後、報告書の作成を毎年課しています。）

(2) 選抜方法

【推薦入試Ⅰ】(センター試験を課さない)：「地域文化学科」

●一般枠

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、小論文および面接（口頭試問含む）の結果を総合して判定します。

●地域連携・国際交流枠

大学入試センター試験および個別学力検査を免除し、調査書、推薦書、志願理由書、地域連携・国際交流活動内容記載書および面接（口頭試問含む）の結果を総合して判定します。

【推薦入試Ⅱ】(センター試験を課す)：「理数教育コース」

大学入試センター試験の成績、調査書、推薦書および面接（口頭試問含む）の結果を総合して判定します。

面接の口頭試問は、数学または理科から受験生が1教科を選択し、理科の場合は、物理、化学、生物、地学から1科目選択する。

出題範囲：

- 数学（数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B）
- 物理（物理基礎・物理）
- 化学（化学基礎・化学）
- 生物（生物基礎・生物）
- 地学（地学基礎・地学）

(3) 大学入試センター試験で課す教科・科目

【推薦入試Ⅱ】「理数教育コース」

パターン	受験を要する教科・科目名																														
	国語	地理歴史				公民				数学				理科				外国語													
	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学Ⅰ	数学Ⅰ・数学A	数学Ⅱ	数学Ⅱ・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	1				1				1	1				2				1				1								
②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1	1				1				1	1				2				1												

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目。その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。

② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。

③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。

④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。

⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているものうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。

⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているものうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。

⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

教科・科目			受験を要する教科・科目名																															
学部・学科・課程等	日程	パターン	国語	地理歴史				公民			数学				理科					外国語														
			国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語		
医 学 部	医学科	前期後期	◎	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
		①	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	
	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	③	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
保健学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
	④	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	◎	×	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
理 工 学 部	生命科学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	物質科学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
	材料工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	◎	◎	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	◎	◎	×	×	○	○	○	○	○	○	
	数理科学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	電気電子工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	○	○
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	人間情報工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
		②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
機械工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
システムデザイン工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
土木環境工学科	前期後期	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	×	×	×	○	○	○	○	○	○	
	②	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	×	×	×	×	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【個別学力検査等】

日程・教科・科目等		前期日程										後期日程					
		教科等										備考	小論文	記述問題	実技検査	面接	備考
		国語	数学	英語	理科				その他								
学部・学科・課程等		※1	※2	※3	※4	※5	※6	※7			※8						
国際資源学部	国際資源学	◎	×	◎	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	世界史、日本史、地理から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む	
	資源政策コース	1		1											1		
	資源地球科学コース	×	◎	◎	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	◎	物理、化学、地学から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む※8	
	資源開発環境コース	×	◎	◎	○	○	×	○	×	×	×	×	×	◎	物理、化学から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む※8		
		1	1		1									1			
教育文化学部	学校教育課程	○	○	○	×	×	×	×	×	○				○	×	実技検査(音楽、美術、体育から一つ選択)または小論文	
	教育実践コース	1											1				
	英語教育コース	◎	×	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	小論文(英文)、面接(英語および日本語)は口頭試問を含む	
		1		1						1				1			
	理数教育コース	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	◎			
		1													1		
特別支援教育コース	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	面接は、口頭試問を含む		
	2											1			1		
こども発達コース	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×	面接は、口頭試問を含む		
	2											1			1		
地域文化学科	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	◎	×			
	2											1					
医学部	医学科	×	◎	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B その他は、面接	
		1	1							1				1			
	保健学科	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	その他は、面接	
		1	1							1				1			
	看護学専攻	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	その他は、面接	
	1	1							1				1				
理学療法専攻	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	その他は、面接		
	1	1							1				1				
作業療法専攻	×	×	◎	×	×	×	×	×	◎				◎	×	その他は、面接		
	1	1							1				1				
理工学部	生命科学	×	◎	×	○	○	○	○	×	×				◎	×	物理、化学、生物から受験生が選択する1科目について基礎的な試問を含む※8	
		1			1									1			
	物質科学科	×	◎	×	○	○	×	×	×	×				◎	×	物理、化学の基礎学力に関する試問を含む※8	
		1			1									1			
	材料理工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×				◎	×	物理、化学の基礎学力に関する試問を含む※8	
		1			1									1			
	情報理工学	×	◎	×	○	○	○	○	×	×				◎	×	数学の基礎学力に関する試問を含む※8	
		1			1									1			
	電気電子工学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×				◎	×	物理の基礎学力に関する試問を含む※8	
	1			1									1				
人間情報工学コース	×	◎	×	○	○	○	×	×	×				◎	×	数学分野に関する知識についての質問を含む※8		
	1			1									1				
デザイン	×	◎	×	○	○	×	×	×	×				◎	×	数学、物理の基礎学力に関する試問を含む※8		
	1			1									1				
創造生産工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×				◎	×	数学、物理の基礎学力に関する試問を含む※8		
	1			1									1				
土木環境工学コース	×	◎	×	○	○	×	×	×	×				◎	×	数学、物理の基礎学力に関する試問を含む※8		
	1			1									1				

◎は必ず受験を要する科目等、×は本学では採用しない科目等、○は選択して受験を要する科目等、その下欄の数字は必要科目等数を示します。

※1 国語総合(近代以降の文章。ただし、古文・漢文との融合問題を含むことがある。)

※2 数学の数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学Aの出題範囲は、高等学校学習指導要領に記載されている全項目を出題範囲とします。数学Bは、「数列」および「ベクトル」を出題範囲とします。

※3 コミュニケーション英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、英語表現Ⅰ、Ⅱ

※4 物理基礎、物理

※5 化学基礎、化学

※6 生物基礎、生物

※7 地学基礎、地学

※8 面接における数学および理科の試問は、前期日程試験と同じ出題範囲とします。

【大学入試センター試験の利用教科・科目】の注意事項（一般入試）

【国際資源学部】

- ① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【教育文化学部】

- ① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【医学部】

- ① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【理工学部】

- ① 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ② 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ③ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ④ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑤ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。

教科・科目		受験を要する教科・科目名																														
		国語	地理歴史				公民			数学				理科				外国語														
学部・学科・課程等	パターン	国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治・経済	倫理、政治・経済	数学I	数学I・数学A	数学II	数学II・数学B	簿記・会計	情報関係基礎	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
		工学部	生命科学科 生命科学コース	①	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	x	○	○	○	x	○	○	○	○
1	1												1		1				2				1					1				
②	◎		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	
1	1											1		1					2				2					1				
物質科学科 応用化学コース	①		◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○
	1		1										1		1					2				1					1			
②	◎		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	
1	1											1		1					2				2					1				
材料工学コース	①		◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	◎	◎	x	x	○	○	x	x	○	○	○	○	○	○
	1		1										1		1				2				1						1			
②	◎		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	◎	◎	x	x	○	○	○	○	○	
1	1											1		1					2				2					1				
数理工学コース	①		◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	1		1										1		1					2				1					1			
②	◎		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	1											1		1						2				2					1			
電気電子工学コース	①		◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	x	x	x	○	○	○	○	○	○
	1		1										1		1					2			1						1			
②	◎		x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○
1	1											1		1						2			2(物理含む)						1			
人間情報工学コース	①	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	
	1	1										1		1					2				1					1				
②	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	○	○	○	x	○	○	○	○	○	○	
1	1										1		1						2				2					1				
システムデザイン工学コース	①	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	x	x	x	○	○	○	○	○	○	
	1	1										1		1					2			2(物理含む)						1				
②	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	1										1		1						2			2(物理含む)						1				
土木環境工学コース	①	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	◎	x	x	x	○	○	○	○	○	○	
	1	1										1		1					2			1						1				
②	◎	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	○	○	○	○	△	△	x	x	x	x	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
1	1										1		1						2			2(物理含む)						1				

◎は必ず受験する科目、×は本学では採用しない科目、○および△は選択して受験を要する科目、その下欄の数字は必要科目数を示します。ただし、△の科目については、選択できる者に制限があります。

【個別学力検査等】

学部・学科・課程等		個別学力検査等	
国際資源学部	国際資源学科	資源政策コース	面接(世界史, 日本史, 地理から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)
		資源地球科学コース	面接(物理※1, 化学※2, 地学※3から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)
		資源開発環境コース	面接(物理※1, 化学※2から受験生が選択する1科目についての基礎的な試問を含む)
教育文化学部	学校教育課程	教育実践コース	小論文および面接, または実技検査(美)および面接
		英語教育コース	小論文(英文)および面接(英語スピーキングテスト)
		こども発達コース	小論文および面接
医学部	医学科		小論文および面接
	保健学科	看護学専攻	面接
		理学療法学専攻	小論文および面接
		作業療法学専攻	小論文および面接
理工学部	生命科学科	生命科学コース	書類審査
	物質科学科	応用化学コース	書類審査
		材料理工学コース	書類審査
	数理・電気電子情報学科	数理科学コース	書類審査
		電気電子工学コース	書類審査
		人間情報工学コース	書類審査
	システムデザイン工学科	機械工学コース	書類審査
		創造生産工学コース	書類審査
		土木環境工学コース	書類審査

国際資源学部の面接における理科の試問の出題範囲は以下のとおりです。

- ※1 物理基礎, 物理
- ※2 化学基礎, 化学
- ※3 地学基礎, 地学

【大学入試センター試験の利用教科・科目】の注意事項（推薦入試）

【国際資源学部】

- ① 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ② 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ③ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ④ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。
- ⑤ 資源政策コースの数学で、2科目受験した場合は、高得点の科目を合格判定に用います。

【教育文化学部】

- ① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【医学部】

- ① 地理歴史においては、同一名称のA・B出題科目、公民においては、同一名称を含む出題科目同士の選択はできません。
- ② 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校においてこれらの科目を履修した者および文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。

- ③ 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ④ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ⑤ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、地理歴史・公民の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑥ 大学入試センター試験で1科目を指定しているもののうち、「基礎を付さない」理科の試験時間において2科目受験した場合は、解答順に、前半に受験した科目を第1解答科目、後半に受験した科目を第2解答科目とし、第1解答科目の得点を合格判定に用います。
- ⑦ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。複数のパターンを満たす場合は、高得点のパターンを合格判定に用います。

【理工学部】

- ① 数学で「簿記・会計」および「情報関係基礎」を選択解答できる者は、高等学校もしくは中等教育学校の専門教育を主とする学科（理数科を除く。）または総合学科の卒業（見込み）者ならびに文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の修了（見込み）の者に限ります。
- ② 理科で「基礎を付した科目」2科目と「基礎を付さない科目」1科目を選択する場合には、「同一名称を含む科目」を選択することができます。
- ③ 英語にはリスニングテストを含みます。なお、「英語」以外の科目を受験した者およびリスニングの受験を免除された者については、筆記試験（200点満点）の成績を素点として利用します。
- ④ それぞれのパターンのいずれかを満たすように受験してください。